

要請アナウンス

主任司祭 昌川信雄

時折、山彦のようにこだまして聞こえて来る、寝屋川市の「感染拡大防止自粛要請」の広報アナウンスが、静まり返った私たちの生活をひととき寂しく感じさせています。皆様、この一週間をいかがお過ごしでしたでしょう。

教会も広報に鐘を鳴らすことが許されるなら、家に居ながらにして、さぞかし心慰められる人々がいるのではと思うのは、私ひとりの感傷でしょうか？

かつてイタリアに行ったとき、「あめのきさき」のメロディーが教会の鐘楼から街中に鳴り響いていました。尋ねると神父様は「私は『うるさい』と抗議されても鐘は鳴らし続けますよ。寝たきりの病人には教会の鐘の音がせめてもの慰めなのですから」と。弱者優先の精神に心打たれました。

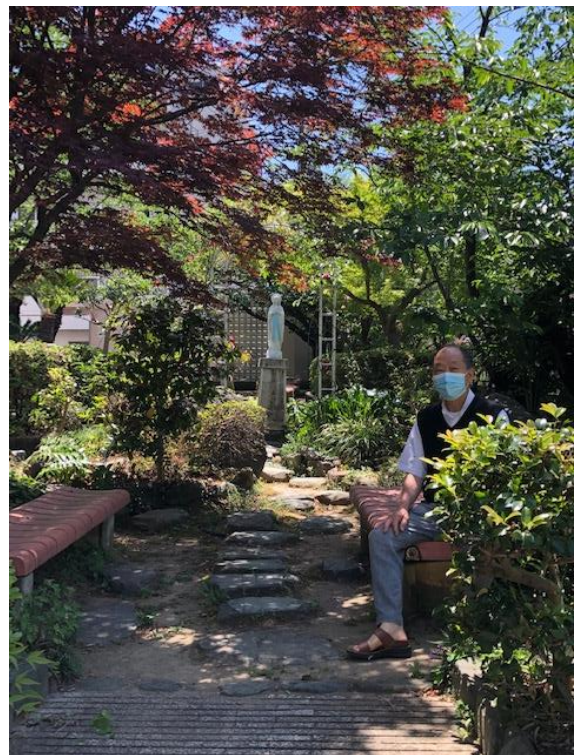
司祭館の部屋の窓から今、園児たちの歌う『マリアさまの心』の元気な声が聞こえています。子供を産み育てた事のない私はかつて、子どもたちのはしゃぐ声、赤ちゃんの泣き声は『騒音』にしか聞こえませんでした。今はそうではありません。『発信』であり、「小さい者の声に耳を傾ける謙遜を身につけなさい」とのイエスさまからの『要請アナウンス』なのだと理解するようになりました。

幼い子どもたちの無邪気な姿は、この世が神さまの祝福の中にある印として、いかなる苦境にあっても信仰者には、めげない希望をもらう恵みなのですね。

今週は「復活節第六の主日」で、次の主日(5/24)は「主のご昇天祭」です。

では又。

2020年5月14日



新緑の香里教会と新司祭